施策番号	2102		
施策名	商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり		
概要	田の字地域や京都駅周辺などの都心部において、交通拠点の周辺、それにつながる幹線道路沿道の土地利用を、都市計画手法などを活用して誘導するとともに、商業・観光振興施策と連携し、事業者による主体的なにぎわい創出の取組を支援する。		
担当局・部室	都市計画局・まち再生・創造推進室	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関する主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン、京都駅南口周辺地区まちづくり指針、京都市商業活性化アクションプラン2011、未来・京都観光振興計画2010 ⁺⁵		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価					指標のウエイト	
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価		
1 田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積(百㎡)	-	-	48,167	48,084	48,167	99.8%	b	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 田の字地域（河原町通、烏丸通、堀川通、御池通、四条通、五条通の幹線道路沿道地区）や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。	128	226	112	38	13	517	a
	24.8%	43.7%	21.7%	7.4%	2.5%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							a

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						25 年度	A
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	a			
(重み付けの理由) 客観指標は、商業・業務施設の施設規模を表すものであり、にぎわいが集積してきていることを示す一つの指標でしかなく、空きテナントや集客力などについては評価に反映できていないため、より全般的な視点でにぎわいのあるまちづくりを評価できる市民生活実感調査の方が適している。								
(原因分析) 【客観指標】 田の字地域では、四条通、烏丸通、河原町通の地区計画の策定に向けた支援を行い、商業集積に寄与する地区計画が策定されたことに等により、にぎわい創出のための土地活用が進み、b評価となっている。 【市民の実感】 八百一の開業や、BAL・東急ハンズ・NHK京都放送局などが建設中であることなどから、これらの地域がにぎわいのある魅力的な地域という実感が高まっており、昨年度から引き続き、a評価と高い評価で安定している。						24 年度	B	

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

●地区計画等の都市計画手法を活用した取組や事業者によるにぎわい創出の取組を支援し、商業振興施策や観光振興施策とも連携を図りながら、にぎわいのある魅力的なまちの実現を目指す。

施策名	2102	商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり				
指標名	田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積（百㎡）					
担当課	まち再生・創造推進室	連絡先	222-3503			
1 指標の説明						
田の字地域や京都駅周辺などの都心部の、商業・業務施設の延べ床面積						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
にぎわいあるまちづくりに向けて、田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積の増減を示す指標			出典：土地利用現況調査資料			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	23年度	24年度		数値	根拠	
数値	48,167	48,084	83百㎡減	48,167	過去10年で最も高い数値に設定	99.8%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値					直接的に商業・業務機能の集積状況を示すことができる指標に変更した。最新数値は前年度のデータを用いて算出するため、1年遅れとなっている。	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
平成15年度以降で最も高い数値と比較し、 a：100%以上 b：99%以上100%未満 c：98%以上99%未満 d：97%以上98%未満 e：97%未満		・過去10年で最も高い数値と比較し100%以上であればa評価 ・以下1%刻みでb～e評価 最高値48,167（平成23年）		24	25	26
				-	-	b